

## SIP2 スマートフードチェーンシンポジウム —露地野菜のデータ駆動型生産・流通への展開— 開催要領

### 趣旨

戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）の研究開発課題「生産から流通・消費までのデータ連携による最適化を可能とするスマートフードチェーンの構築」では、食品の生産、流通段階で発生するフードロスの削減と事業者の収益向上を目指し、需要側ニーズに応じて一次産品を提供するデータ駆動型スマート生産システムの開発と実証に取り組んでいます。

本シンポジウムでは、幅広い分野の関係者や有識者を参集し、取り組みの背景となる加工・業務用需要を主とした露地野菜の生産、流通現場における現状と課題を共有するとともに、精密出荷予測や自動化農機の開発、生産管理の ICT 化による課題解決の取り組みを発信し、スマート化への展開に向けた意見交換を行います。

**開催日時**：1月27日（木）14：00～17：00

**開催方法**：YouTube によるオンライン配信

**主催**：農研機構 野菜花き研究部門

### 内容

#### 1. 開会挨拶

農研機構本部 NARO 開発戦略センター 原田久富美  
(SIP スマートフードチェーンコンソーシアム研究代表)  
(14：00 ～ 14：10)

#### 2. 講演

○基調講演：加工・業務用野菜を取り巻く状況とスマート農業への期待

石川県立大学 小林茂典  
(14：10 ～ 14：40)

○生鮮野菜流通の現状と課題 ～産地リレー、DX の取り組みについて～

横浜丸中ホールディングス株式会社 岡田貴浩  
(14：40 ～ 15：00)

○データ利活用による収穫予測ビジネス戦略

イーサポートリンク株式会社 深津弘行

(15:00 ~ 15:20)

○WAGRI を介した予測情報提供基盤の構築

農研機構野菜花き研究部門 菅原幸治

(15:20 ~ 15:40)

○生産現場におけるデータ利活用の推進 ~十勝地域組合員総合支援システムの取り組み~

十勝農業協同組合連合会 小川ひかり

(15:40 ~ 16:00)

○AI 技術による露地生産技術の革新 ~自動収穫・自動運搬技術~

東京大学 深尾隆則

(16:00 ~ 16:20)

3. パネルディスカッション

コーディネーター 農研機構野菜花き研究部門 佐藤文生

(16:20 ~ 17:00)

4. 閉会

**申し込み方法**

下記のリンク先にある、申し込みフォームにて、お名前、勤務先名、メールアドレスと、任意でご質問やご意見を入力して送信してください。

申し込みフォーム：<https://asahi-create.sub.jp/sip202201nouken/>

申し込み締め切り：2022年1月25日（火）

**事務局及び連絡先**

野菜花き研究部門 露地生産システム研究領域 佐藤・菅原

電話：029-838-8529 メール：[SIP2-CL@ml.affrc.go.jp](mailto:SIP2-CL@ml.affrc.go.jp)

**その他**

参加費：無料

本研修会の録画・録音・撮影はご遠慮ください。

参加用の URL を第三者に知らせたり、SNS で公開したりしないでください。